2019年10~12月

	三重•愛知	全国•海外
	●三重県が「三重県キャッシュレス推進方針」を策定。 現状20%程度とされるキャッシュレス比率を2025 年に50%まで引き上げる目標を掲げる。〈10/19〉	●わが国の消費税率が8%から10%に変更。同時 に一部商品について税率を8%に据え置く軽減 税率制度を導入。〈10/1〉
10月	●四日市市と東大地域未来社会連携研究機構が連 携協定を締結。同市は地域課題の解決に取り組み、 新たな「地域の知」の構築を目指す。〈10/24〉	●吉野彰旭化成名誉フェローが2019年のノーベル化学賞を受賞。リチウムイオン電池を開発した功績で米国の2科学者と共同受賞。〈10/9〉
	●三重県が日本最大のスマートフォン向けニュース アプリ「スマートニュース」で、県公式情報の発信 を開始したと発表。〈10/25〉	●台風19号が東日本を縦断。関東地方を中心に多数の河川が氾濫し、多くの地域で大規模な浸水・停電が発生するなど大規模災害が発生。〈10/12〉
	●三重県が産業連携をしているスペイン・バスク自治州へ、知事らが経済交流ミッションとして往訪。食の交流などで連携を一層発展させるため。〈11/5~10〉	●米国が地球温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」から離脱することを国連に正式通知したと発表。 正式離脱は2020年11月上旬の見込み。〈11/4〉
11月	●G20外相会議が名古屋市で開催。全体会合では 自由貿易の推進、持続可能の開発目標(SDGs) などがテーマに。〈11/22・23〉	●10月22日の「即位礼正殿の儀」に続き、天皇陛下の即位を祝うパレード「祝賀御列の儀」が皇居・宮殿から赤坂御所までの4.6kmで行われた。〈11/10〉
	●珈琲を通じた地域活性化を目指している「Japan Coffee Festival」が東海三県で初めて鈴鹿市 の鈴鹿青少年センターで開催。〈11/30・12/1〉	●IT業界大手ヤフーの親会社ZホールディングスとLINEが2020年10月までに経営統合することで基本合意。 グローバル展開する海外大手IT企業に対抗。〈11/18〉
	●日銀名古屋支店が東海3県の12月短観を発表。 製造業の業況判断DIがマイナス3と前回9月調査 から7ポイント悪化。マイナスは13期ぶり。〈12/13〉	●政府が自然災害への対応と消費税増税などによる景気減速を防ぐことを目的に事業規模26兆円の大型の経済対策を決定。〈12/5〉
12月	●三重県の鈴木知事が「みえ環境フェア2019」において、2050年までに県内から温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「脱炭素宣言」を実施。〈12/15〉	●内閣府が7~9月期のGDP改定値を公表。年率 換算で1.8%増と消費税増税前の駆け込み需要 が寄与し、4四半期連続のプラス成長。〈12/9〉
フォーカス	●新名神高速道路の亀山西JCTの名古屋・伊勢ランプウェイが完成。これにより新四日市JCT-亀山西JCT区間と伊勢方面との利用が可能に。〈12/21〉	●英下院総選挙が行われ、開票の結果、与党保守党が過半数を獲得し大勝。2020年1月の欧州連合(EU)離脱が確実な情勢に。〈12/12〉

2020年1~3月の予定

三重·愛知 全国·海外 ▶英国パラスイミングチームが東京2020パラリンピック ●2016年6月23日の英国の欧州連合(EU)離脱 競技大会に向けた準備・調整のため、三重県営鈴鹿 是非を問う国民投票結果に基づき、英国が欧州 スポーツガーデンで事前キャンプを実施。〈1/7~27〉 連合(EU)を離脱する予定。〈1/31〉 月 ●2020年11月の米国大統領選挙における、各州 ▶名古屋市・栄にある久屋大通公園に新たなオープ ンスペース「ミツコシマエ ヒロバス」がオープン。栄 の予備選挙が集中して実施される(一般に、ス-地区の新たな賑わい創出の一端を担う。〈2/22〉 パー・チューズデーと呼ばれる)。〈3/3〉 3 月 ●3月26日から7月24日まで、日本全国47都道府 県を回る「東京2020オリンピック聖火リレー」が 福島県をスタートに実施される。〈3/26〉 ▶三重県志摩市で初の「ONSEN・ガストロノミー ウォーキング」が開催される。33FGが共催し、志摩市 の自然・食・温泉が存分に味わえるイベント。〈2/29〉

フォーカス

新名神高速道路の亀山西JCTの名古屋・伊勢ランプウェイが完成

2019年12月21日、NEXCO中日本名古屋支社が建設を進めていた新名神高速道路の亀山西JCTの名古屋・伊勢ランプウェイが完成しました。ランプウェイは、全国的にも珍しいループ状の構造となっています。今回の完成により2019年3月17日に開通した新四日市JCT-亀山西JCT区間と伊勢方面との利用が可能になり、今後、①災害通行止め時など東名阪自動車道とのダブルネットワーク機能のさらなる発揮、②三重県内の観光活性化への寄与、などの効果が期待されます。